

# まちづくり市民ワークショップ《第2回分野別「安全」「快適」》ニュース

日時：平成 29 年 1 月 14 日(土)9:30～11:30

場所：加東市社公民館 2階 研修室

## ◆ 次 第 ◆

- 1 開会
- 2 ワークショップ  
「安全」「快適」分野における加東市の将来像（まちづくりの目標）について
- 3 今後のスケジュールについて
- 4 閉会



当日の会場の様子

第2回分野別「安全」「快適」のワークショップには、10人の市民等の皆さんに出席していただきました。

## ◆第2回分野別「安全」「快適」のワークショップの内容

- ワークショップ方式で、第1回で検討した加東市の「安全」「快適」分野における「良いところ」「良くないところ」を踏まえた分野別の将来像を考えていただきました。
- 参加者は2つのテーブルに分かれて意見をまとめ、最後にそれぞれのテーブルの意見を発表しあって、情報共有（交換）を行いました。
- このワークショップで考えていただいた結果は、次の全体ワークショップにおいて発表していただき、分野間で共有し、意見交換をしていただきます。

## ◆ワークショップ

- ワークショップでは、最初に前回の振り返りと今回の取組について確認しました。
- そして、ワークショップの進め方の説明の後、「安全」「快適」分野における将来像を、KJ法という手法を用いて整理していきました。
- まずは、参加者全員が分野別将来像を付箋紙に書き込み、模造紙に貼り込みながら、意見交換（共有）をしました。
- テーマは「安全」「快適」ですが、その枠にとらわれず、幅広く加東市の将来像を出していただき



ました。

- これらの付箋紙を、同じ内容でグルーピングして、タイトル付けをすることにより、グループで話し合った将来像を整理しました。
- さらに、将来像を実現するために、市民ができることを付箋紙に書き込み、模造紙に貼り込みながら、意見交換（共有）をしました。
- そして、発表する人を自薦、他薦で選び、別のグループに話し合った結果を報告し、意見交換（共有）を行いました。



## ◆ワークショップの結果発表(「安全」「快適」分野における加東市の将来像と市民ができること) Aグループ

### 「安全」等の将来像と市民ができること

#### <将来像>

- 公共交通が充実したまち
- 公園が多くあり散策できる
- 道路が確立したまち（歩道・車道・自転車道）…趣味が楽しめる、交通事故が減る、道路を中心としたまちづくりを考えられる、人を呼べる
- 田畑が多く、家庭菜園があり、楽しめる
- 自然と調和したまち
- 人口が増え、まちが活気に溢れる中でも、どこかのどかなまち
- 治安が良いまち
- 災害の影響が少ないまち
- 河川災害防止工事が進んでいる

#### <市民ができること、やるべきこと>

- 移動の足であるコミュニティバスを増やし、高齢者が利用する
- 有機肥料で健康野菜づくり
- クリーンキャンペーンを続け環境を美しくする
- ピオトープ的な水辺公園、安全な遊び場、教育の場整理
- 声かけ運動で近隣のつながりを深める

## 「快適」等の将来像と市民ができること

### ＜将来像＞

- ゆとりのある生活ができるまち（安定した収入がある、自分の時間を楽しめる、災害に強い、地域コミュニティがある）
- 公共・文化施設・環境が整い、発展し、子育てやコミュニティが充実し、一生住むまち

### ＜市民ができること、やるべきこと＞

- 難しいけど一生住み続けよう！という気持ちを大切にする

## 【発展】

### ＜将来像＞

- 医療が充実したまち
- ハイテク技術を導入していくまち
- 「加東ブランド」となる産業があり、高収入が得られかつ観光価値のあるまち
- まちの強みを他市、企業とコラボするまち
- キャラクターの明確なまち
- Facebook、YouTube等SNSで発信→経済効果があるのでは？！

### ＜市民等ができること、やるべきこと＞

- 働きやすいまち、企業の模索と提案
- 就労スタイル、雇用形態の見直しと多様化
- 新産業の創出
- 今ある産業のブランド化（豊かな自然を売りにする、奇抜な取組、特徴を与える）
- サービスのポイント化
- 自分が今までに活動してきたこと等を登録制にして公表し、それをポイント化して、逆に自分が別のサービスを受けることができるしくみをつくる

## 【子育て】

### ＜将来像＞

- 子育てしやすいまち
  - ・仕事が安定している
  - ・教育の充実
  - ・安全
  - ・地域コミュニティの活性化
- 小中一貫校ができる（子どもが減る）

## 「快適」等の将来像と市民ができること

### 【コミュニティ等】

#### <将来像>

- コミュニティがあるまち
- 困ったことは助け合いで解決するまち
- 発表の場があるまち（日々の努力を認めてもらえる）
- 文化、スポーツサークル活動が多くあり、発表する場がある良いまち
- 夢や希望を共有できるまち
- 高齢者も無理なく働けるまち
- 自分のしたいことができるまち
- 公共施設が充実したまち
- 文化施設、お寺、神社が各地域にある
- スーパー・コンビニ等による買い物が便利
- （安全に）趣味が楽しめる
- 催事の施設(滝野文化会館、やしろ国際学習塾、東条文化会館コスミックホール) に駐車場を増やして欲しい
- 施設と駐車場を近くにして欲しい

#### <市民ができること、やるべきこと>

- 趣味を持つ
- まちの施設を利用する
- 好きなサークル活動に参加し、楽しく過ごす
- 地域を大切にする
- 安全なまち（地域でつながりを強くする）



## B グループ

### <まち全体の将来像>

- 住んで良かったまち
- 揺りかごから墓場まで安全なまち

### 「安全」等の将来像と市民ができること

#### 【交通安全】

##### <将来像>

- 交通事故のないまち

#### 【自然】

##### <将来像>

- 自然環境が整備されたまち
- 人と自然の共生
- 自然に親しみ、田舎暮らしができる（自然を守り、自然に手を加える）
- 都会の人が自然を楽しみ住みたいまち
- 自然の良さを活かしながら、農地を維持し、憩いのある里山をつくる

##### <市民ができること、やるべきこと>

- 山林の下刈り
- ため池、水路、農道の保全

#### 【年輩者の支援】

##### <将来像>

- 年輩者がうまく生活できる、病院にかからず健康なまち
- 病気の時にしっかりと診てもらえ、看取られるまち

#### 【子どもの安全】

##### <将来像>

- 学校の外でも子どもだけで遊べるまち
- 地域の見守りがあるまち
- 地域で子どもを見守るまち
- スピードを出して良い道、出せない道を明らかにして、凹凸を明示
- 歩車分離の通学路や植栽のある道路
- スクールバスの拠点から自宅までの安全の確保

##### <市民ができること、やるべきこと>

- 少し不便を受け入れる

### 「快適」等の将来像と市民ができること

#### 【快適なまちづくりで大切なこと】

##### <将来像>

- 充実したハードを活かすソフトの充実（図書館にプロ（司書等）を配置）

#### 【公共交通】

##### <将来像>

- 公共交通機関が機能しているまち
- 駅周辺の駐車場の設置、駅までのバスの運行（JR 社町駅は利用者が増加している）
- 高齢者が病院に行けないことがないような交通ネットワーク

##### <市民ができること、やるべきこと>

- 空き地など用地の提供

## 「快適」等の将来像と市民ができること

### 【まち・田舎】

#### <将来像>

- まちと田舎（自然）が共存
- 商店街の活性化（商店街がシャッター通り化している）

### 【空家活用】

#### <将来像>

- 住環境の整備（空き家対策）

#### <市民ができること、やるべきこと>

- 空き家バンク制度への登録

### 【交通安全】

#### <将来像>

- ハード面とともに、歩道の充実や見守り、マナーの向上
- 通学路や人が集まる所への歩道の整備（歩道がない道がある）
- 弱者に優しいまち

#### <市民ができること、やるべきこと>

- 見守り隊

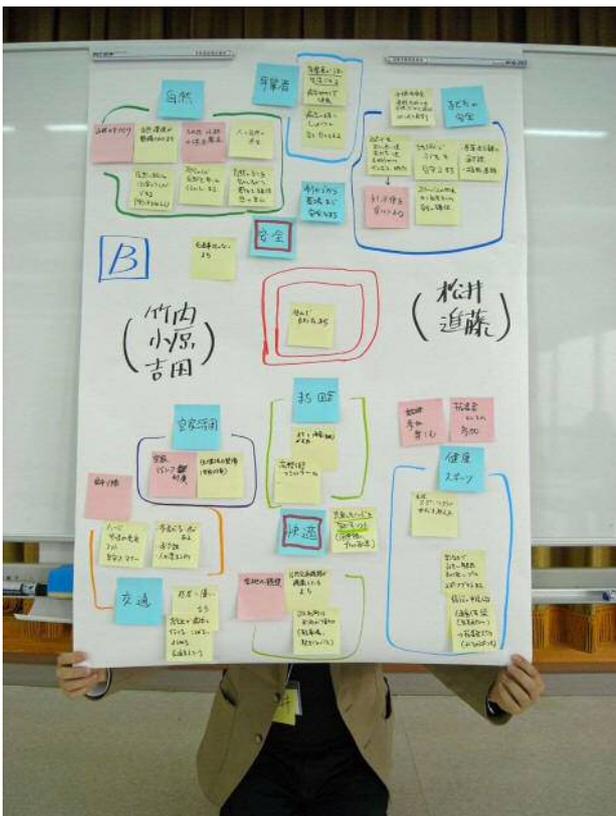
### 【健康・スポーツ】

#### <将来像>

- 世代を超えた生涯スポーツクラブ
- まちなかで子どもから年長者、初心者、プロスポーツまでできるまち
- 施設の充実と中核人材の育成
- 健康体操（年長者向け）や子どものスポーツの指導者の充実

#### <市民ができること、やるべきこと>

- 参加し、楽しむ
- 指導者として参加する



◆次回(第2回分野別ワークショップ:「活力」「協働」分野)の予定

日時:平成29年1月26日(木)19:30~

場所:加東市社公民館 2階 研修室

内容:「活力」「協働」分野における加東市の将来像(まちづくりの目標)について

発行:まちづくり市民ワークショップ事務局(加東市協働部企画協働課)

電話 0795-43-0389

E-mail [suishin@city.kato.lg.jp](mailto:suishin@city.kato.lg.jp)